

平成30年1月23日

各位

ダイダン株式会社

ダイダン九州支社・スマートエネルギーラボ（エネフィス九州）
「第7回サステナブル建築賞」において（一財）建築環境・省エネルギー機構
理事長賞を受賞

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：北野晶平、証券コード：1980）が、平成28年5月に完成させた「ダイダン九州支社・スマートエネルギーラボ」（通称：エネフィス九州®）は、（一財）建築環境・省エネルギー機構が主催する『第7回サステナブル建築賞』において、（一財）建築環境・省エネルギー機構理事長賞の【中・小規模建築部門】を受賞し、1月23日の表彰式で作品発表を行いました。

環境負荷低減および省エネルギーの成果が顕著であり、さらに竣工後の運用段階においても、居住者と設計者、施工者が定期的に運用改善、快適性の向上に努めたことが評価されました。なお、このエネフィス九州は、「BELS 5☆」^{(*)1}「建築物省エネ法の省エネ基準適合認定第1号（福岡市）」^{(*)2}に続き、「CASBEE®」（建築物総合環境性能評価システム）認証制度^{(*)3}で最高ランクのSランクも取得（CASBEE－建築（新築））しております。



「ダイダン九州支社・スマートエネルギーラボ（エネフィス九州）」

- (※1) BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）とは、一般社団法人 住宅性能評価・表示協会による、建物の省エネルギー性能の表示制度です。
- (※2) 建築物省エネ法の省エネ基準適合認定とは、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）第36条にもとづく、省エネ基準への適合認定制度です。
- (※3) CASBEE（建築物総合環境性能評価システム）とは、一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構による建築物の環境性能評価制度で、「S」を最高とし「A」「B+」「B-」「C」ランクが付与されます。

（一財）建築環境・省エネルギー機構の主催する「サステナブル建築賞」は、二年に一回実施されており、“環境の価値を重視し、居住環境の豊かさを維持ながら、省エネルギーと環境負荷低減により、サステナブル社会の実現に貢献する優れた建築物を顕彰”することで技術の向上と普及を目的としています。また、建築主、設計者及び施工者の三者が協力し、建築時のみならず運用時においても環境負荷低減、省エネルギー性能と快適性の向上に努めていることも重要な評価項目となっております。国土交通大臣賞および（一財）建築環境・省エネルギー機構理事長賞に【大規模建築部門】、【中・小規模建築部門】それぞれ1点が選出されます。また、審査員奨励賞として、複数点選出されています。

今回、エネフィス九州は、

建築主：ダイダン株式会社

設計者：ダイダン株式会社、株式会社NTTファシリティーズ

施工者：ダイダン株式会社

と株式会社NTTファシリティーズと共同で受賞しています。このサステナブル建築賞において建築主、設計者としての理事長賞以上の受賞は、建築設備会社では初めてとなります。

エネフィス九州に導入された主な省エネルギー技術は、以下となります。

- ・太陽光発電で得られた直流電力の交流変換ロスを抑制する「直流給電システム」
- ・省エネルギー性に優れる「地中採熱」と「躯体蓄熱」によりピーク熱負荷を抑制
- ・「膜ルーバー」や「緑化壁」により外皮負荷を低減し、熱源機器をダウンサイジング

実績として、一次エネルギー消費量を基準値に比べ53%削減し、**ZEB Ready**を達成しました。

さらに継続的に執務者への調査と環境改善を行い、満足度も向上しています。具体的には、温熱環境を逐次測定および記録し、快適範囲内にあることを確認し、季節ごとには執務者にアンケートを募り、環境に関する不満を抽出して改善（A1図面が見やすいように配光角の広いタスク照明に一部変更）しております。

ダイダンは、今後もZEB化技術の実証・実験を継続して行ない、ZEBリーディングオーナーとして情報発信を続けるとともに、ZEBプランナーとしてお客様の必要とする最適な環境を提案し、構築してまいります。

■エネフィス九州 建物概要

- (1) 所在地：福岡市中央区警固三丁目1番24号
- (2) 規模：敷地面積＝760㎡、延床面積＝1,384㎡
- (3) 構造：S造、地下1階・地上3階
- (4) 設計：NTTファシリティーズ株式会社、ダイダン株式会社

以上

【お問合せ先】ダイダン株式会社業務本部広報部 伊藤
〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10
Tel.: 03-3261-8231 E-mail: itoshuichi@daidan.co.jp

平成30年1月10日
一般財団法人建築環境・省エネルギー機構

「第7回サステナブル建築賞」受賞作品について

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構（理事長 村上周三）では、国土交通省の後援、関係団体の協賛を得て、第7回サステナブル建築賞（大規模建築部門、中・小規模建築部門）の公募を行い、審査（審査委員長 宿谷昌則東京都市大学教授）の結果、下記8点の受賞作品を決定しましたのでお知らせいたします。

この顕彰は、サステナビリティに優れた建築物の一層の普及を図ることを目的として、昨年5月に公表し、8月10日（木）まで応募の受付を行ったものです。

なお、表彰式は1月23日（火）14時より全国町村会館「ホールB」（東京都千代田区永田町1-11-35）で執り行い、午後14時50分より同会場にて作品報告会を開催いたします。

「第7回サステナブル建築賞」受賞作品

国土交通大臣賞

【大規模建築部門】YKK80ビル（東京都千代田区）

【中・小規模建築部門】竹中工務店東関東支店（千葉県千葉市）

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長賞

【大規模建築部門】雲南市役所新庁舎（島根県雲南市）

【中・小規模建築部門】ダイダン株式会社 九州支社・スマートエネルギーラボ enefice九州
（福岡県福岡市）

審査委員会奨励賞

【大規模建築部門】関東学院大学建築・環境棟（5号館）（神奈川県横浜市）

【大規模建築部門】ダイキン工業 テクノロジー・イノベーションセンター

（大阪府摂津市）

【大規模建築部門】コープ共済プラザ（東京都渋谷区）

【大規模建築部門】市立吹田サッカースタジアム（大阪府吹田市）

※中・小規模建築部門については該当がありませんでした。

※受賞作品の詳しい概要は、1月24日以降にホームページに掲載いたします。

お問い合わせ先：建築環境部 長岡 TEL：03-3222-6727 e-mail：anagaoka@ibec.or.jp

募集終了

第7回 サステナブル建築賞

省エネルギー・環境負荷低減に優れた建築物の募集

応募期間

2017 7/10(月)～8/10(木)

賞

- 国土交通大臣賞・・・部門ごとに1点
- 一財)建築環境・省エネルギー機構
理事長賞・・・部門ごとに1点
- 審査委員会奨励賞・・・数点

資料の提出先・問い合わせ先

一財)建築環境・省エネルギー機構
サステナブル建築賞 事務局
〒102-0083
東京都千代田区麹町3-5-1 全共連ビル麹町館
TEL:03-3222-6727
FAX:03-3222-6696
ホームページ
<http://www.ibec.or.jp/>



第6回 国土交通大臣賞 (事務所建築部門) 清水建設本社



第6回 国土交通大臣賞 (小規模建築部門) 浜松信用金庫 駅南支店

省エネルギー・環境負荷低減に優れた建築物の募集

第7回サステナブル建築賞 募集要項

地球温暖化等環境問題は、人類にとって最も大きな課題のひとつであり、自然環境・生活環境を保全し、サステナブル社会を形成することが強く求められています。

このような状況下において、建築分野では、エネルギー消費や環境負荷を低減する住宅・建築の整備・普及を進める必要があります。

(一財)建築環境・省エネルギー機構では、環境の価値を重視し、居住環境の豊かさを維持しながら、省エネルギーと環境負荷低減により、サステナブル社会の実現に貢献する優れた建築物を顕彰するために、この度、第7回サステナブル建築賞の候補作品の公募をします。多くの方々のご応募をお待ちしております。

1. 目的

サステナブル建築賞は、建築物として優れた作品であるとともに、建築主、設計者及び施工者の三者の協力により、新築・増改築等において、環境負荷低減、省CO₂、省エネルギーに顕著な成果を上げ、その普及効果が期待される先導的なサステナブル建築物を顕彰することによって、それらに関する設計、施工及び運用管理技術等の向上と普及を図り、サステナブル社会の構築に寄与することを目的とします。

2. 対象建築物

対象となる建築物は、住宅を除く建築物で、日本国内に存する建築関係法令に適合する新築、増改築等の工事が完了してから、概ね3年以内のもので、応募日現在、概ね1年以上使用しているものとします。

3. 応募部門

- 1)大規模建築部門(2000㎡以上、省エネ基準適合義務化対象の規模要件に準ずる)※
- 2)中・小規模建築部門(上記1)以外)
※建築物エネルギー消費性能適合性判定を受けている必要はありません。

4. 応募資格・条件

- 1)原則として建築主、設計者及び施工者の三者の連名とします。(但し、都合により二者連名又はいずれか単独となっても結構です。その場合、予め関係者の了解を取ったうえで応募してください。)
- 2)応募責任者1名を定め、応募してください。

5. 賞

- 1)部門ごとに、国土交通大臣賞……………1点
- 2)部門ごとに、(一財)建築環境・省エネルギー機構理事長賞……………1点
- 3)上記1)、2)以外で、審査委員会奨励賞……………数点

6. 審査

審査委員会で提出された応募資料に基づき書類審査を行うとともに、必要に応じて現地審査(応募者からの説明及び質疑応答を含む)を行い、優秀な作品について賞を決定します。

審査委員会(敬称略)

委員長 宿谷 昌則 東京都市大学教授
委員 赤司 泰義 東京大学大学院教授
委員 秋元 孝之 芝浦工業大学教授
委員 奥宮 正哉 名古屋大学大学院教授
委員 小泉 雅生 首都大学東京大学院教授
委員 鈴木 康史 (一社)日本ビルディング協会連合会政策委員
委員 野部 達夫 工学院大学教授
委員 山下 英和 国土交通省住宅局住宅生産課建築環境企画室長

7. 応募資料

1)提出資料

所定書式には枚数制限等を設けております。詳細は財団ホームページより「募集要項」をダウンロードしご確認ください。)

- (1)第7回サステナブル建築賞応募申請書:様式1
- (2)建築・設備の概要と省エネルギー措置に関する資料:様式2
- (3)全景写真及び代表的な建築図面:様式3
- (4)省エネルギー、環境負荷低減、省CO₂を実現させる取り組みについて:様式4

(5)CASBEE評価結果表示シート(所定の書式):様式5※

※CASBEE 評価については自己評価でも可とする。

(中・小規模建築物部門については、資料の作成が困難な場合には省略可とします。)

(6)設計・施工・運用において取り組んだ省エネルギー対策について:様式6

(7)エネルギー消費の実態:様式7-1、様式7-2

(8)様式2の太枠線内の数値の根拠となる資料(エネルギー消費性能に係る計算支援プログラムの計算結果や省エネルギー計画書の写し)

2)資料の綴じ方

A4判フラットファイル(紙製)1冊に綴じて、3部提出してください。用紙はA4又はA3としてください。A3の場合は、横使いとして折り込んでください。

3)資料データの提出

各様式をPDFデータ化し、CD-ROM等1枚にデータを入れて、ファイルと共にお送りください。

8. 日程

1)応募受付期間

平成29年7月10日(月)～平成29年8月10日(木)(消印有効)

2)表彰式

平成30年1月中旬に東京で開催(予定)

9. 後援

国土交通省

10. 協賛

(公社)日本建築家協会、(一社)日本建築学会(予定)、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、(一社)日本サステナブル建築協会、(一社)日本設備設計事務所協会、(一社)日本ビルディング協会連合会

11. 補足事項

1)応募資料について

- (1)審査の必要上、追加資料の提出を求めることがあります。
- (2)応募資料は返却しません。

2)入賞作品の公表等について

- (1)入賞作品は財団のホームページ、機関誌「IBEC」の他、住宅・建築関係の新聞、雑誌などで発表します。
- (2)入賞作品については、表彰式後、入賞作品について設計等をされた方から設計にあたってのコンセプトや工夫した点などについて、発表をしていただく作品報告会を予定しています。
- (3)入賞作品については、広報の利用に供するためパネル用データの提出、財団機関誌への寄稿をお願いします。
- (4)広報のために使用する応募資料の写真・データ等、パネルデータ等については、無償で使用させていただきますので予めご了承の上ご応募ください。(著作権等の取り扱いはその時点で相談させていただきます)
- (5)入賞作品以外は公表しません。

12. 応募資料の提出先・問い合わせ先

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-1 全共連ビル麹町館
(一財)建築環境・省エネルギー機構 サステナブル建築賞 事務局
電話 03-3222-6727 FAX 03-3222-6696
ホームページ <http://www.ibec.or.jp>
(募集要項や過去の受賞作品がご覧になれます)